

「一人にさせない」取り組みで地域を支える

岡山県玉野市暮石地区 ちーむ…ゆうさい



ちーむ…ゆうさいのはじまり

「ちーむ…ゆうさい」が活動する岡山県玉野市暮石地区は玉野市の西北に位置する周囲を山に囲まれた平らかな農村地域です。現在約280世帯が暮らしており、そのうち古くからある世帯（以下…旧住民とする）は2〜3割。他はここ数十年の間に、田んぼを埋め立て造成した土地に新たに住宅が建設され、他地区から移り住んだ人たち（以下…新住民）で構成されています。

平成20年代後半、暮石自治会を守ってきた旧住民たちの高齢化が著しく、自治会活動や地域の環境整備、昔から守ってきた地区の祭りなどの継続も困難になっていました。また、自治会役員は輪番制となり、伝統的な祭りや、親睦を図るイベントを盛り

上げていく動きも少なくなり、ただ任期を無事に過ぎればという意識が強くなっていました。

一方で、新住民が増え、新旧の地域住民の連携、親睦を図りたいという要望があり、30〜40代の47名が集まりソフトボールチームを結成しました。毎週日曜日、近所のグラウンドで早朝練習や他の地区と試合をして楽しんできました。

そんな折、暮石の区長から、「自治会の活動が先細りになってしまっている。何とか再興したい。力を貸してほしい」と相談を受けました。自治会でできないことでも、自分たちならできることがあるかもしれない。そんな思いで、自治会の活動を補佐する「ちーむ…ゆうさい」をソフトボールのメンバーから募り2019年に発足しました。「子どもたちに地域の祭りやイベントを通じ

て色々な経験を積んでほしい」と取り組み始め、「最後まで地域で暮らしたい」という高齢者の声も大切に、「できないことは、できる人が行う」と、共助の精神で活動を続けています。地域の未来を考えて、「一人にさせない」地域づくりを目指していききたいと活動をスタートさせました。

現在、当会のメンバーも入れ替わりながら、30代〜70代22名で活動をしています。これまで自治会が担っていた地域行事などを引き続き開催しながら、住民同士の絆を深める「集い」の場づくりを大切にしています。特に、伝統行事（祭り）の継承や地域の環境整備、地区内にある民間の福祉施設での活動を中心に行っています。他にも、市からのイベント依頼など、暮石地区以外での活動も広がりを見せています。



鴨神社秋祭り：大人神輿、境内近くは人力で巡行



鴨神社秋祭り：賑やかになった子ども神輿

活動の具体例

① 受け継いでもらいたい伝統行事など

地区の大人・子ども神輿は、かつてはご神体を載せて担いで地区を巡行していましたが、高齢化の影響もあり担ぎ手が不足してきました。そこで、地域・企業の協力をいただき台車を購入しました。また、市の補助金を活用して法被も新調しチームを誇りとし、仲間との一体感を感じながら、誰もが参加しやすい祭りのやり方を整えました。その結果、子どもから大人までの約100名が参加できるようになり、かつての賑わいが戻ってきています。

また、夏には「暮石地区夏祭り」を開催し、地区の公民館内外で、流しそうめんや綿菓子・スライム作り、射的、輪投げ、かき氷、最後にビンゴゲームも大人気です。冬には餅つき大会でぜんざいの提供、クリスマス会も実施しています。

綿菓子や餅つきなど、「自分で作りたい。体験してみたい」という子どもたちの声を拾い、体験の場、思い出作りの場を創出することで、楽しさは倍増し、会場には笑顔があふれています。

当初は子どもたちに喜んでもらうための企画でしたが、子どもを連れた親や祖父母も



自治会夏祭り：そうめん流しに夢中



自治会夏祭り：射的に挑戦



自治会餅つき大会：お餅をまるめる体験中



自治会餅つき大会：餅つき体験中



地域環境保全活動にも参加：イノシシ柵を自治会と一緒に設置

大勢参加するようになり、餅つきに関しては、高齢者単独の参加も年々増え、嬉しい誤算もありました。

こうした行事によって、老若男女の地区行事への参加は増え、「暮石地区のような取り組みをやってみたい」という声が他の地区から出ているようです。

②地域美化・環境保全活動

地区内のイノシシ被害対策作業として、山際約1キロメートルに、イノシシ除けの柵を設置する重労働を地区住民と当会の仲間が助け合って行いました。また、地域一斉清掃前には散歩道の木の伐採や危険箇所の修復作業等も、地域住民の高齢者が対応するには

困難な作業をできるだけ実施するようにしています。メンバー以外にも作業内容に応じて手伝ってくれる人へ声かけをすることで、地区のことは地区住民で考え、行動できるような働きかけをするのも当団体が心掛けていることです。

③他組織へのイベント協力

地区内にある民営の児童発達支援施設の依頼を受け、地域の畑での農作業や芋ほり体験を施設の職員と一緒に実施し、クリスマス会など季節を感じられる催しの協力をしています。また、学区内の幼稚園の遠足では安全確保やレクリエーションへの協力も継続しています。

団体の継続

他にも、玉野市宇野港へ海外からの大型客船が寄港する際、市から当団体へ協力依頼を受け、おもてなしの歓迎行事を実施することもあります。季節にもよりますが、餅つきのパフォーマンスや、ぜんざいなどをふるまうと、「日本の文化や味覚を楽しめた」と大変好評をいただいています。

「代表に声をかけられて団体に加入しました。私は暮石地区で育ち、楽しかった思い出が今の活動の原点にあります。だからこそ、子どもたちに地域の祭りや、イベントを通じて色んな経験をしてもらい地域を好きになっ



自治会クリスマス会

てもらいたい」と40代のメンバーは話します。
 榎平実行委員長は、「地域の若い人が交流を深めていかないと活動は衰退の一途をたどるのは明白。子ども時代の楽しい思い出の蓄積が、未来の地域のリーダーを育てる第一歩！」と力強く話をします。
 また、「自分たちの活動において、参加してくれる仲間には決して無理をさせないことを前提としています。あくまでも『家庭や仕事が優先』と考えています」無理に参加するのはなく、協力できる時に、気持ちよく参加してもらえよう、参加できない人にも「次にお願ひ」と伝えるようにしています。「できる人ができる時に」という参加しやすい環境づくりも、継続には重要だと思っています。



他のイベント協力：大型客船寄港時の歓迎セレモニーに参加

今後の展望

「ちーむ…ゆうさい」の組織づくりを、暮石地区だけではなく、他の地区へも紹介していきたいと思っています。まずは、色々な地区の方が当会のメンバーに入り、各々の地元で「ちーむ…ゆうさい」のような団体を作っていけば、自治会と連携した地域づくりの新たな形ができるのではないかと考えています。
 また、昨年度から近隣4地区と連携した秋祭りを実施しています。他の地区と協力できることから始め、一つの地区だけでは困難であっても協力し合いながら、地域全体の活力になって欲しいと思っています。



ちーむ…ゆうさいのメンバー

今年の「ちーむ…ゆうさい」の総会で「実行委員長は、80歳を定年とする。但し、メンバーの年齢制限はない」と提案されました。内部で、不安に思う人もいましたが、世代交代は覚悟と行動が必要です。仲間がいれば必ずできると信じています。
 若い人、年齢を重ねた人、少し背中を押して欲しい人、積極的に行動する人、色々な人がいて楽しい。だから、「大変だけど生き生きと活動できるのかもしれない」と考えています。
 (NPO法人玉野SDGs)

みらいづくりセンター 東りえ